

ゴジラ×メカゴジラ (2002)

GODZILLA X MECHAGODZILLA

メディア 映画
ジャンル 特撮 SF
製作国 日本
色彩 Color
時間 88分
初公開日 2002/12/14
公開情報 東宝

【キャッチコピー】

起動・共鳴・氷砕

砕け散るまで戦え！

【解説】

シリーズ26作目となる本作では過去3度ゴジラと対戦したメカゴジラが再登場。これまでのデザインを一新してロボット工学に基づく最新科学を駆使したフォルムに進化。全身に武器を搭載し、ゴジラとの激闘に臨む。監督はこれまで「モスラ」シリーズなどで助監督を務め、「ゴジラ×メガギラス G消滅作戦」で初メガホンを取った手塚昌明。

1954年、ゴジラ日本上陸。絶体絶命の中、芹沢博士が開発した特殊兵器オキシジェン・デストロイヤーでゴジラを撃退。だが、博士はこの兵器に脅威を感じ、自らの命と共に消滅させる。この年、政府は対特殊生物防衛専門の“特生自衛隊”を組織。99年、再びゴジラ出現。特生自衛隊は迎撃するも苦戦を強いられる。政府は人工生物学者・湯原徳光を中心とする科学者チームへ対G兵器・機龍“メカゴジラ”開発を要請。2003年、ついにメカゴジラが完成する。そして、機龍の操縦士として、99年の戦いで仲間を失った特生自衛隊員・家城茜が任命された…。

【クレジット】

監督	手塚昌明	
製作	富山省吾	
エグゼクティブプロデューサー	森知貴秀	
制作	富山省吾	
脚本	三村渉	
デザインワークス	西川伸司	
撮影	岸本正広	
視覚効果プロデュース	小川利弘	
美術	瀬下幸治	
編集	普嶋信一	
キャスティング	田中忠雄	
音響効果	佐々木英世	
音楽	大島ミチル	
造形	若狭新一	
アクション	喜多川務	(ゴジラ)
	石垣広文	(メカゴジラ)

特殊技術

録音

照明

製作担当者

特技・撮影

特美

特技・照明

特効

操演

特技・助監督

助監督

特技・製作担当者

出演

菊地雄一

斉藤禎一

望月英樹

金澤清美

江口憲一

三池敏夫

斉藤薫

久米攻

鳴海聡

野間詳令

兼重淳

川田尚広

釈由美子

宅麻伸

小野寺華那

高杉亘

友井雄亮

水野純一

水野久美

中尾彬

中原丈雄

加納幸和

上田耕一

白井晃

萩尾みどり

六平直政

森末慎二

松井秀喜

田中美里

村田雄浩

永島敏行

柳沢慎吾

北原佐和子

杉作 J 太郎 Sugisaku J
Taro

中村嘉葎雄

谷原章介

藤山直美

田中実

渡辺哲

吹越満

家城茜・特自三尉(28)

湯原徳光(40)

湯原沙羅(10)

富樫・特自二佐(36)

葉山・特自三尉(25)

関根・特自二尉(27)

柘植真智子・総理大臣(58)

五十嵐隼人・総理大臣(57)

一柳・特自幕僚長(54)

菱沼

土橋

赤松伸治

山田薫

菅野吾郎

葉山二尉(葉山三尉の兄)